HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

（第 2660 地区）　WEEKLY BULIETIN　No.8

東大阪中央ロータリークラブ

創　　立　昭和47年2月20日
例 会 日　毎週月曜日　12:30～
例会場所　シェラトン都ホテル大阪　3F
事 務 局　大阪市天王寺区石ヶ辻町2－8
〒543-0031　クレアツィオーネ上本町 704号
TEL：06－6772－2320
FAX：06－6772－2327
E-mail：hcrc@at.wakwak.com

会　　長	三 木 武 志
会長ノミニー	小 川 高 弘
副 会 長	百 済 洋 一
幹　　事	佐 藤 三千秋
会報委員長	岩 﨑 史 郎

Be a gift to the world

世界へのプレゼントになろう

2015～2016 年度　国際ロータリー会長　K. R. ラビンドラン

第 1981 回例会　　平成 27 年 9 月 7 日（月曜日）第 8 号

本日の例会　９月７日（月）　第１例会

◎ソング　「　我等の生業　」
◎卓　話　『　世界遺産の冨士登山へ　』
担当：佐井　義昌会員
◎本日の献立　軽食ワンプレート

次回の例会　９月１４日（月）　第２例会

◎移動例会　17：00～
◎マット・マートン選手チャリティーイベント
18：00：受付・開場
18：30：開催
◎会場　シェラトン都ホテル大阪　４階「大和の間」
◎本日の献立　ビュフェ

前回の例会　８月３１日（月）　第４例会

東大阪中央RC会長挨拶　会長　三木　武志

先日、大阪東ロータリークラブに行って参りましたので少しお話します。会員数は 125 名で 8 月 27 日は 87 名の出席でした。ソングリーダーとソング隊がいて 10 名ぐらいでみんなをリードしていました、また食事中はピアノのソングリーダーがずっと歌っていました。今でも 2 か月に一度ぐらい炉辺会合が開かれているようです、ちょうどその夜、中之島で開かれる予定で出席者が 84 名とのことでした。

何よりも親睦を兼ねて食事会、飲み会が多いようです、クラブの雰囲気も落ち着いた感じでした。

よそのクラブへ行って一番に思うことはビジターに対して特定の人しか声をかけないという事です、私たちのクラブでも同じように思いますのでこれからは積極的にビジター様に声を掛けていきましょう。

出 席 報 告　委員長

本日の会員数	２４名
本日の出席者数	１８名
本日の出席規定適用免除会員	９名
本日の出席率	８５．７２％
７月２７日の修正出席率	９０．４８％

幹 事 報 告　幹事　佐藤三千秋

1. 次週、例会終了後、第３回クラブ協議会を５階「コスモスの間」にて開催致します。梅澤ガバナー補佐、林ガバナー補佐エレクトご臨席の協議会です。理事役員・各委員長にはご出席を宜しくお願い致します。当日は「クラブ概況報告書及び活動計画書」を必ずご持参下さい。
2. 引き続きまして、第３回定例理事役員会を開催致しますので、宜しくお願い致します。
3. ９月 14 日のマートンチャリティーイベントの成功に向けまして、会員各位には多数のご参加ご協力を重ねてお願い致します。ご友人方に、説明用の案内状を受付に置いてありますのでご活用下さい。

ニコニコ箱報告　長堀　副SAA

佐藤幹事　交換留学生セリアちゃんが無事来日しました。ほぼ１年お世話することになります。よろしく！

長堀会員　本日、卓話をさせていただきます。初めてでお聞き苦しいことがあると思いますが、宜しくお願い致します。

ロータリー財団委員会報告　委員長　小川高弘

先日の８月２９日に三木会長とロータリー財団セミナーに出席してきました。財団からの要請は会員１人当り＄150 以上の寄付を宜しくお願い致しますとの事です。

当クラブは毎年１人当り＄150 は達成しています。
財団基金は各クラブが奉仕する為の大切な資金です。これからも皆様のご協力、宜しくお願い致します。

青少年奉仕活動委員会報告　　委員長　金子勝信

8 月 27 日にカナダからの交換留学生セリア・ベンソーシンさん(16 才)が来日しました。2 泊 3 日の研修を終え、29 日に佐藤幹事・岡本副委員長・中村委員と共に研修場へ迎えに行って参りました。現在は私の家に住まい、9 月 1 日から大阪府立夕陽丘高校へ通学しています。9 月 7 日の例会にて、スピーチしもらいます。大変素直でかわいい女の子ですので、どうぞよろしくお願いします。

また、当クラブからの派遣留学生の金子虎史が 28 日の早朝に日本を出発し 29 日の朝に留学先であるニューヨーク州ラッツバーグに無事到着し、現地ロータリアン並びにホストファミリーから熱烈な歓迎を受けたとの報告がありました。9 月 18 日より現地の高校へ進学する予定です。また、近況を定期的にご報告させて頂きますので、宜しくお願いします。

卓　話　　長堀　哲矢会員

「世界での損害保険の始まり」

保険の歴史は古代オリエント時代に起源があると言われています。
古代オリエントでは地域間で交易が盛んに行われていました。しかし、その交易には自然の猛威や盗賊･海賊などによって大きな危険(リスク)を伴っていました。
これらのリスクに備えて損失補填のため資金借入が行われていました。このことが保険の起源だと言われています。ただ、金利が 10%、担保が人質だったためバビロニアの通商自体が衰退していったということです。
また、商人達は隊商やダウ船を分散させることでリスクの分散を図ったりもしていました。

紀元前 1800 年頃のハムラビ法典では「冒険貸借」の原型や、災害時の相互扶助としての社会保険的な制度が見られます。
この「冒険賃借」というのは、紀元前 300 年頃に地中海商人によって始められた制度で、これは船主・荷主は船や積み荷を担保に金融業者から借金し、無事に帰港できれば利息を付けて返済し、事故で船や積み荷が失われれば返済しないというものです。これが「海上保険」の原型になりました。この頃には荷物を失ったら荷主・船主全員で負担する「共同海損」という制度ができ、「コレーギア」という貴族院の互助会的な制度も現れました。
このように保険制度は発展していきますが、ローマ帝国の滅亡と地中海貿易の衰退が保険制度も衰退させていきます。さらに 1230 年、教皇グレゴリー９世が利息を取って儲けることはキリスト教の教えに反するとして「利息禁止令」を出しました。これによって「冒険貸借」の制度は終わります。

中世になると、地中海では十字軍遠征に伴い、イタリア商人の交易活動が活発化しました。これまでの「冒険貸借」は「仮装売買契約」という形に発展しました。また、1347 年にジェノヴアでは「海上保険証券」も出されています。一方北海ではハンザ同盟による商業活動が盛んで都市がおおいに発展しました。都市の同職組合(ギルド)では災害共済の制度がつくられています。また、フランドル地方の中心地ブリュージュでは 1310 年頃「海上保険取引所」も登場しました。

16 世紀には無敵艦隊を擁するスペインが、世界の海を支配していました。これに対抗したイギリスのエリザベス女王は敵スペイン艦隊に打撃を与えるため、敵船捕獲の特許を与え、盗賊行為を奨励しました(これを「私掠船」といいます)。しかし、海賊行為には危険はつきもののため、その見返りにケガをしたら険金を出すようにしました。こうして増えた「私掠船」の活躍でイギリスはスペインを破り、世界の海を制し、大英帝国に発展していきました。

17 世紀末、ロンドンの港近く、ロンバード街にあるエドワード・ロイドが経営するコーヒーハウスには船主など海上輸送の関係者が立ち寄って情報交換をしていましたそこでロイドは 1696 年海運貿易情報の新聞を発行しました。そこへ保険引受業者が多くやってきて保険引受が行われるようになりました。
ここで形成されたのが国際的な保険組織「ロイズ」です。この「ロイズ」はシンジケートの集合体で、現在、主要な保険となっている火災保険は 1666 年のロンドン大火の後、ニコラス・バーボンが始めました。
また、自動車保険はベンツが自動車を発明した翌 1896 年には、早くもロンドンで登場しました。
近代における確率・統計など数学の発達がありました。この数字の発達が詳細な保険料率の整備に繋がりました